

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 データ・アプリケーション

コード番号 3848 URL <https://www.dal.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 橋本 慶太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO (氏名) 長井 定一

TEL 03-5640-8540

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,376	11.1	322	27.7	326	26.6	211	26.6
24年3月期第3四半期	1,239	1.1	252	9.5	258	10.3	166	15.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 208百万円 (27.7%) 24年3月期第3四半期 163百万円 (14.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	13,374.72	13,088.20
24年3月期第3四半期	10,642.93	10,402.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,087	1,653	79.2
24年3月期	1,967	1,479	75.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,653百万円 24年3月期 1,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,200.00	2,200.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2,200.00	2,200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,930	14.3	460	41.1	463	39.5	302	35.4	19,115.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料]P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	17,532 株	24年3月期	17,519 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,720 株	24年3月期	1,720 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	15,800 株	24年3月期3Q	15,681 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要を背景とした緩やかな回復が続いており、政権交代に伴う経済政策への期待による円安、株高の動きがある一方、欧米の財政問題や新興国の成長鈍化等を背景として、海外経済では依然として懸念材料が残っており、先行きについては不透明な状況と考えられます。

情報サービス産業においては、システムの災害対応強化の動向や、IT投資内容の精査、選別の動向等により、産業総売上高は前年同四半期同水準となっており、ビジネス向けソフトウェア売上高については、前年同四半期に対し微増の傾向にあります。

この経営環境下、当第3四半期連結累計期間は、当社製品の主要適用分野であるEDI関連業務での問題解決力の強化及び製品やサービスの応用可能な市場への提案力の強化等、販売力の強化に努めてまいりました。

他方、研究開発面では、顧客ニーズの充足及び付加価値の拡大を図るべく、既存ソフトウェア製品の機能強化や次期製品の開発を推進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、ソフトウェア売上、メンテナンス売上共に前年同四半期を上回ったこと等により、売上高は1,376百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。利益面では、売上総利益は1,094百万円(前年同四半期比11.1%増)、売上総利益率は79.5%となっております。

また、販売費及び一般管理費が772百万円であったことにより、営業利益は322百万円(前年同四半期比27.7%増)、経常利益は326百万円(前年同四半期比26.6%増)となり、税金等調整後の当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は211百万円(前年同四半期比26.6%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間で当社のサーバー系ソフトウェア製品は新たに403本を出荷し、累計出荷実績は6,502本に至っております。

当社グループの事業は、データ交換系ミドルウェア等の企業の業務プロセスを支える基盤型ソフトウェア製品等の開発・販売・保守及びこれらソフトウェア製品の導入や運用を支援するサービス等の提供を行う単一セグメントのソフトウェア関連事業であります。なお、売上区分別の状況は次のとおりであります。

①ソフトウェア売上

ソフトウェア売上におきましては、主要適用分野であるEDI関連業務において、流通BMS®関連システムや災害対策用システム等の販売強化に努めてまいりました。その結果、EAI統合製品等の売上が伸長し、ソフトウェア売上高は608百万円(前年同四半期比5.6%増)となりました。

(注)「流通BMS®」は、財団法人流通システム開発センターの登録商標です。

②メンテナンス売上

メンテナンス売上は、当社ソフトウェア製品の導入にあたり保守契約を締結し、毎年一定の保守料金をいただき、製品に関するサポートサービスを提供しております。従いまして、このメンテナンス売上は累計導入企業数の増加と共に安定的な収益基盤となっております。

メンテナンス売上高は、継続した保守契約の推進活動等により、709百万円(前年同四半期比13.1%増)となりました。

③その他

その他の売上として、ソフトウェア製品販売に付帯する、製品の導入サービス、教育サービス等のサービスの提供や、通信機器の販売等があります。これらは、製品の販売に付帯して顧客要望に基づき発生するもので、当該売上高は58百万円(前年同四半期比65.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産の残高は、前連結会計年度末に比べ119百万円増加して2,087百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加193百万円、売掛金の減少72百万円、固定資産の減少8百万円によるものです。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ54百万円減少して433百万円となりました。これは、買掛金の減少11百万円、未払法人税等の減少47百万円、前受金の増加53百万円、賞与引当金及び役員賞与引当金の増加53百万円、その他流動負債の減少102百万円によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ174百万円増加して1,653百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加176百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画どおりに推移しており、第4四半期以降も、現下の経済情勢も踏まえた上で、当社製品の主要適用分野であるEDI関連業務での問題解決力の強化及び製品やサービスの応用可能な市場への提案力の強化等の施策を引続き推進してまいります。従いまして、現時点におきましては、平成24年10月16日に公表いたしました業績予想値に変更はありません。

なお、業績予想はリスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化によって予想値と異なる結果になる可能性があります。第4四半期以降におきましては、以下のような事業上のリスクが考えられます。また、下記項目以外の事業等のリスクにつきましては、当社が公表した有価証券報告書の「事業等のリスク」をご確認願います。

また、業績に影響を与える要因は、「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではありません。

① 間接販売（パートナーモデル）への依存について

当社グループの製品及び保守サービスは、主に、システムインテグレーター等のパートナー（販売代理店等）との協業によって販売されており、間接販売による売上が大部分を占めております。従いまして、販売パートナーの営業活動状況は、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

② 財政状態及び経営成績の変動に関わるものについて

当社グループを含めたパッケージソフトウェア販売の特徴として、人件費等の固定費水準が高く、変動費比率が低いことが挙げられます。そのため、売上が増加した場合の増益額が他の販売形態に比べ大きい一方、売上が減少した場合の減益額も他の販売形態に比して大きく、利益の変動額が大きい傾向にあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,371,507	1,565,358
売掛金	247,131	174,308
仕掛品	637	4,591
その他	62,395	65,985
流動資産合計	1,681,671	1,810,244
固定資産		
有形固定資産	21,085	20,156
無形固定資産	17,292	9,091
投資その他の資産	247,242	247,654
固定資産合計	285,620	276,902
資産合計	1,967,292	2,087,147
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,184	13,526
未払法人税等	103,527	56,278
前受金	180,133	233,510
賞与引当金	—	39,790
役員賞与引当金	—	13,702
その他	178,970	76,354
流動負債合計	487,816	433,161
負債合計	487,816	433,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	394,319	394,787
資本剰余金	304,319	304,787
利益剰余金	913,334	1,089,891
自己株式	△125,536	△125,536
株主資本合計	1,486,435	1,663,928
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,959	△9,943
その他の包括利益累計額合計	△6,959	△9,943
純資産合計	1,479,476	1,653,985
負債純資産合計	1,967,292	2,087,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,239,427	1,376,848
売上原価	253,598	281,896
売上総利益	985,829	1,094,952
販売費及び一般管理費	732,881	772,062
営業利益	252,947	322,889
営業外収益		
受取利息	144	174
受取配当金	690	736
補助金収入	1,800	—
助成金収入	—	1,724
受取手数料	950	750
その他	2,047	624
営業外収益合計	5,631	4,009
営業外費用	331	2
経常利益	258,247	326,896
特別損失		
固定資産除却損	44	—
特別損失合計	44	—
税金等調整前四半期純利益	258,202	326,896
法人税等	91,307	115,581
少数株主損益調整前四半期純利益	166,894	211,314
四半期純利益	166,894	211,314

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,894	211,314
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△3,731	△2,984
その他の包括利益合計	△3,731	△2,984
四半期包括利益	163,162	208,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,162	208,330
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間
(自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。